

映画・映像

Moving picture arts and sciences

映像で語る事は、半ば発明です

設置の趣旨・概要

映像の教育は、特定の学部を設けず、専門や学年に関わらず、映画・映像分野に関心ある学生が自発的に学習を積み重ねてゆく学習システムを基本とすることが望ましいと考えます。

教育方法は、“何を表現するか”と“どのように表現するか”を主眼に置いた教育を行います。

そのために、学生自身が①「見方」を創る、②多様な人材との交流と議論を通して磨く、③自 決定する、ことの3点を重視します。映画・映像作品に多く触れることにより、知的好奇心を広げ、様々な表現様式を学ぶと同時に、全学部生が集まる少人数形式の授業を展開することで、他者を知り自らの思考を深めることを目指します。批評意識を育むために対話形式を取り入れるほか、実践的な知識や技術を学び、産業や社会のなかで映画・映像の果たす役割を思考するために、実務家による指導、制作実習、受講者によるイベントの運営等を実施します。

履修モデル

興味本位で授業を選択するのではなく、芸術表現分野と映像科学・技術分野をバランス良く履修することが理想的です。作品を語る言葉、制作する技術、完成し人に届けることのできるコミュニケーション能力を自己マネジメントしてみてください。基礎的な知識を涵養する科目をコア科目とし、それを基にして表現領域を拡張する選択科目を履修しつつ、制作・プロデュース・マネジメントなど各々の志望に必要な要素を段階的に身につけてもらいたいと思います。理想的なコア科目を2科目以上、それに選択科目を加えて、16単位以上の修得を条件とします。修了希望者数は、毎年約30名の希望者があると想定しています。

履修開始時	修了時	修了後の展望
本副専攻に興味や関心がある。	<ul style="list-style-type: none"> ・批評眼を持って映画・映像と向き合う。 ・映画・映像の制作、プロデュース、マネジメント、制作技術に関する基本的な知識を習得し、自分の得意分野を持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・勉学的な展望：習得した知識に基づき、映画・映像作品の制作・プロデュース・マネジメントに携わる人材となしてほしい。 ・進路等の展望：映画・映像業界だけでなく、他の業種であっても映画・映像と間接的に関わり、社会のなかで映像表現を介したコミュニケーションの豊かさや広がりの実現に寄与してほしい。

学生へのメッセージ

映画・映像を通して批評的に創造行為に携わりたい、思考したいと考える学生を受け入れます。じっさいに映画監督やプロデューサーの道を目指すのだとしても、過去から現在に至るまで、数多くの映画を見て、このような作品を作りたい、論じたいという情熱を持っていることが第一です。自らの殻に閉じこもるのではなく、数多くの作品や他者に出会い、その良いところや気になるところ、悪いと思うところを検証し、刺激を受け、自己と他者のイメージをそれぞれ更新することに諦めずに取り組み続けてください。映画や映像を学ぶプロセスは、作り手になるために必要な行程のみならず、人間と社会を思考することへ繋がると信じています。他者の作品や声に耳を傾け、自らを取り巻く現在の状況と格闘し、新しい表現のかたちを生み出してもらいたいと考えています。本副専攻に携わる教員は、受講する学生の皆さんのそうした挑戦を支えていきたいと思っています。

指定科目一覧

※備考欄の記載事項

追加…2018年度より、指定科目として追加になった科目です。

取下げ…指定科目となっていたが、2018年度から取下げとなった科目です。2017年度まで単位を修得していた場合には、修了単位として認定されます。

修了必要単位

16単位 コア科目：4単位、選択科目：12単位)以上

★コア科目

修了必要単位：4単位

項	設置学部・センター	科目名称	担当教員名	配当年次	学期	曜日時限	キャンパス	単位	履修曲	備考
1	GEC	プロデュース概論	吉川 圭三 他	1年以上	秋クォーター	火2時限	早稲田	1	○	2017年度以前科目名称：「プロデューサー概論」
2	GEC	映画のすべて マスターズ・オブ・シネマ 1 ※1	土田 環 他	1年以上	春クォーター	土4時限	早稲田	1	○	
3	GEC	映画のすべて マスターズ・オブ・シネマ 2 ※1	土田 環 他	1年以上	夏クォーター	土4時限	早稲田	1	○	
4	GEC	映像制作技術基礎	元村 直樹	1年以上	春クォーター	月3-4	早稲田	2	○	
5	基幹	映画から学ぶ映像表現	土田 環	2年以上	春学期	月3-4	西早稲田	4		
6	基幹	テレビ論		3年以上			西早稲田	4		2018年度休講

注1 コマ科目を修了必要単位数以上取得した場合は、選択科目に振替えられます。

※1 基幹・創造・先進理工学部生は、理工設置科目を受講してください。

★選択科目

修了必要単位：12単位

項	設置学部・センター	科目名称	担当教員名	配当年次	学期	曜日時限	キャンパス	単位	履修曲	備考
1	GEC	ジャーナリズム概論		1年以上			早稲田	2		2018年度休講
2	GEC	視覚芸術と身体性	谷 昌規	1年以上	秋学期	木5時限	早稲田	2	○	
3	GEC	視覚芸術と無意識		1年以上			早稲田	2		2018年度休講
4	GEC	映画監督と学ぶ映像表現	犬童 一心	1年以上	夏季集中	無その他	早稲田	2	○	
5	GEC	ジャーナリズム演習 ベーシック 1	野中 章弘	1年以上	秋クォーター	木3-4	早稲田	2	○	
6	GEC	ジャーナリズム演習 ベーシック 2	野中 章弘	1年以上	冬クォーター	木3-4	早稲田	2		
7	GEC	インターンシップ実習 05 (個人申請)	松居 辰則	1年以上	秋学期	無その他	早稲田	2	○	
	GEC	インターンシップ実習 06 (個人申請)	松居 辰則	1年以上	春学期	無その他	早稲田	2	○	
8	文	映画作家論	藤井 仁子	2年以上	秋学期	火4時限	戸山	2		追加
9	基幹	奇想のテレビドキュメンタリー論	長嶋 甲兵	2年以上	秋学期	木4-5	西早稲田	2		
10	基幹	映像制作実習 I	篠崎 誠 他	3年以上	春学期	火6-7	西早稲田	4		
11	基幹	映像制作実習 II	篠崎 誠 他	3年以上	秋学期	火6-7	西早稲田	4		